

国立大学法人 千葉大学

【学生総数】約 16,000 名、【教員数】約 1,250 名
 【沿革等】1949 年、当時千葉県内にあった千葉医科大学、同大学附属医学専門部および薬学専門部、千葉師範学校、千葉青年師範学校、東京工業専門学校、千葉農業専門学校等を含めて新制国立大学として発足した。当時の学部数は 5 つであったが、2004 年の法人化を経て、現在は、文・教育・法経・理・医・薬・看護・工・園芸学部の 9 学部、11 の大学院のほか附属図書館、医学部附属病院及び各教育研究センター等で構成されている。



支援循環型体制による女性研究者支援育成モデル

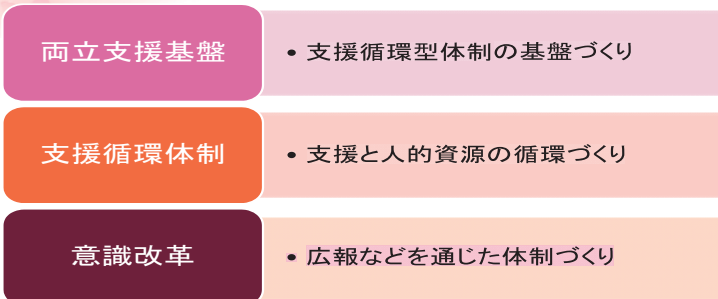
【計画概要】

女性研究者がキャリアを継続して能力発揮できる支援体制を整備し、女性研究者の相互支援や後輩支援によって自らのキャリアへの意志とリーダーシップを涵養し、卒業生・修了生・地域との連携に基づく支援循環体制を強化する。計画は 3 つの柱、①両立支援体制の基盤づくり、②支援と人的資源の循環づくり、③意識改革からなる。

具体的には、①支援循環体制の基盤として、各年代層の研究者が育児や介護を両立できるよう、勤務制度改革、支援要員配置など学内支援体制を整える。②両立支援を受けた女性教員がコーチングや組織運営を学びながらピアサポートや女性大学院生のメンターに加わり、自らが受けた支援を相互支援や女性研究者育成というかたちで還元する支援循環体制をつくる。③学長からの両立支援に関するメルマガ配信などによる意識啓発を行うとともに、学長が認証するしくみの構築、女性研究者支援に関する FD を実施する。



支援循環型体制を支える三つの柱



総括責任者名：学長 齋藤 康

実施責任者名：両立支援企画室長/看護学部長 森恵美

推進室等の名称・連絡先：両立支援企画室

〒263-8522 千葉市西千葉弥生町 3-11

<http://www.womensupport.chiba-u.jp/index.html>



千葉大学 平成19年度科学技術振興調整費「女性研究者支援モデル育成」事業 支援循環型体制による女性研究者育成モデル

支援循環型体制を支える三つの柱

両立支援基盤

出産・育児・介護などによる
女性研究者の負担や不安の軽減

A 勤務制度改革

B 総合相談窓口の設置



C 支援要員の配置

D 保育支援の拡充

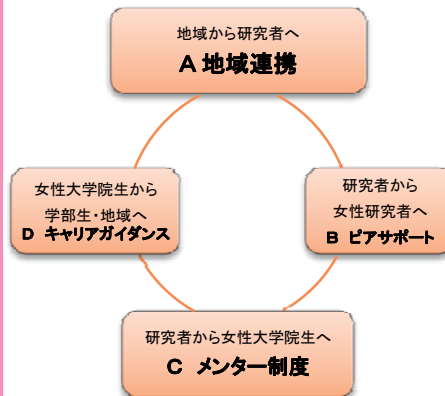


E 女性専用休憩室の設置

- ・オンライン会議システムの活用
- ・支援要員の確保

支援循環体制

支援を受けた者が他者への支援にまわり
気がねなく支援を受けられる風土づくり



コーチングセミナー開催



女性研究者がピアサポーターやメンターとして活躍できるよう、コーチングスキルを学ぶことを目的としたセミナーを開催。
第1回を理論編 第2回を実践編に分け、院生指導や日常生活に役立つコミュニケーション法を学びました。

- ・教員のピアサポート
- ・メンター制度の充実

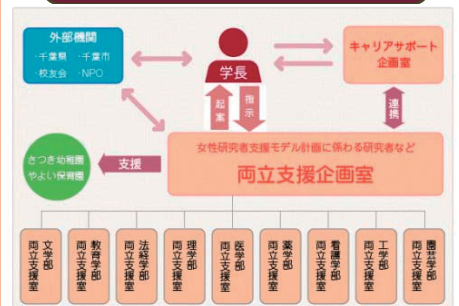
意識改革

両立支援・女性研究者支援を
全学的な取り組みへ

A 広報を通じた意識改革の推進



B 支援室設置と取り組みの認証



C FDの実施



- ・各局局でのFDの実施
- ・WEB等を活用した情報発信

千葉大学 両立支援企画室

千葉大学の両立支援企画室は、本学で働く教職員が、子育てや介護と研究・職務等が両立できるよう、その支援に関する総合的施策の策定及び推進のために、検討・提言・実行していくことを目的としています。本学の「女性研究者支援モデル育成」事業は、両立支援企画室が中心となって運営しています。 両立支援企画室ホームページ <http://www.gakuzyutsu.chiba-u.jp/>